

NITTO KOHKI CO.,LTD.

Social & Environmental

REPORT 2021

日東工器 2021年 社会・環境報告書

地球環境への取り組みを通じて

社会的責任を果たし

持続可能な社会を追求します

編集にあたって

発行目的と編集方針

日東工器株式会社の社会、環境への取り組みと現状を、株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただき、皆さまとのコミュニケーションを深めていくことを目的としています。社会貢献活動や環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。また、財務情報・企業情報について詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nitto-kohki.co.jp/>

対象期間

2020年4月～2021年3月

対象範囲

原則として、日東工器株式会社としています。また、参考としてグループ会社の栃木日東工器株式会社、白河日東工器株式会社、株式会社メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。

発行時期

▶発行日：2021年5月21日

▶次回発行：2022年5月予定

日東工器では2010年から環境報告書、2015年から社会・環境報告書を発行しています。

ガイドライン（参考）

▶環境省

「環境報告ガイドライン（2018年版）」

お問い合わせ先

日東工器株式会社 ISO推進部

▶TEL：03-3755-1111（代）

▶FAX：03-5700-7192

後発事象

2021年4月1日以降、発行日現在までの後発事象はございません。

日東工器シンボルマーク（裏表紙参照）

日東工器のイニシャル「N」に無限大の記号「∞」を重ね合わせた「無限大マーク」の外側にタービンブレードを図案化して配したものです。「無限の可能性を信じ、常に知性と勇気が生む強いパワーによって回転し、前進する」との企業姿勢を象徴しています。

免責事項

この報告書には、日東工器株式会社の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。

編集にあたって	1
Top Message	2
Topics	
新型コロナウイルス 日東工器グループの取り組み	3

Chapter 1 経営

Part1 企業統治（コーポレート・ガバナンス） / 内部統制	5
社是・社訓・経営方針/取締役会および内部統制の役割/ コンプライアンスの整備・運用状況/ BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況	
Part2 ビジネスモデル・財務状況	7

Chapter 2 社会への取り組み

Part1 お客さまとともに	9
営業部門の取り組み/コロナ禍でも「お客さまとともに」	
Part2 学生との関わり	10
会社説明から入社まで/1day仕事体験による学生の受け入れ	
Part3 社員との関わり	11
ライフプランセミナー・ハラスメント防止研修/SDGsへの取り組み 日東工器 創立記念式典	
Part4 地域および社会との関わり	12
地域小学校へ出張授業/ 「おしごと年鑑2020」で迅速流体継手「カブラ」を紹介/ 清掃活動と防災学習～西日本支社～ / 中日本支社救命講習受講	

Chapter 3 環境への取り組み

Part1 日東工器が目指す環境経営	13
日東工器の重要な環境課題/日東工器のバリューチェーン	
Part2 品質・環境方針/ 品質・環境マネジメントシステム	14
品質・環境方針（ISO9001・14001）/品質・環境マネジメント体制/ 品質・環境マネジメントシステムの運用	
Part3 製品含有化学物質への取り組み	15
環境に関する法規制順守状況/グリーン調達/環境教育の実施状況	
Part4 地球温暖化対策・廃棄物の削減	16
地球温暖化防止に向けた活動/廃棄物の削減	
Part5 環境への影響について	17
Part6 オフィスの取り組み	18
日東工器本社/空調設備による換気	
Part7 製品開発	19
自社製品コンセプト/環境配慮設計/モノがたり	
ECO Topics	20
Part8 生産部門の取り組み	21
栃木日東工器/メドテック/白河日東工器/ NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)/ 海外環境データ	

Top Message

産業界の発展と、豊かな人生、 そして社会へ貢献する企業へ

日東工器株式会社 代表取締役社長

小形明誠

2020年は新型コロナウイルス感染拡大により世界中がさまざまな困難に直面しました。これは現在も収束していません。一刻も早く平常な世の中に戻れることを期待します。

コロナ禍への対応

従業員の幸福

新型コロナウイルスの脅威に直面し、当社もさまざまなところで従来と異なる取り組みをしています。そして第一に重要なものとして従業員と関係者の皆さまの健康を守らなければなりません。当社の経営方針に掲げている「従業員の幸福」のため、感染防止のため、政府の緊急事態宣言が出る約1カ月前に他社よりも早く、テレワークを開始しました。

社会への貢献

新型コロナウイルス感染拡大により企業の経済活動も大きな打撃を受けています。当社本社の地元の企業を支援することができないか、金融機関と一緒に、東京都大田区・品川区の中小企業と特別商談会を実施し、地元企業との取引拡大を行っています。

また、全国の大学病院、地方自治体へ、当社製品「キュータム」（小型・軽量の医療用吸引器）と社内で備蓄していた医療用マスクを提供しました。

環境と社会への取り組み

当社は、創業以来「省力・省人化」をテーマに新しい時代のニーズに応える独創的な製品を追求し、開発してきました。省力・省人化することで、環境へも社会へも貢献できると考えています。そしてそこには、「人を想う」という気持ちを大切にした製品を通じて社会貢献を行う、社是・社訓のモノづくりの考え方があります。

環境マネジメントシステムの活用

ISO14001（環境マネジメントシステム（EMS））を日東工器、国内3生産拠点（栃木日東工器、白河日東工器、メドテック）、海外生産拠点（NITTO KOHKI INDUSTRY（THAILAND））の日東工器グループの各拠点でそれぞれ取得しています。当社はISO14001規格ののっとりEMSを構築し、「環境方針」に基づき、EMS活動を推進しています。



また、併せてISO9001（品質マネジメントシステム）を運用し、環境を考慮しながら持続可能な開発、品質の向上、顧客満足を推進し、事業活動を展開しています。

地球温暖化対策・CO₂の削減

地球温暖化対策として、脱炭素の取り組みが全世界的に加速しています。日本政府も「温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする」方針を発表しました。

当社では、新製品の省エネ化の推進による使用時の電気を代表とするエネルギーの削減や業務の効率化をはじめ、通常の企業活動で投入する電気やガソリンなどエネルギー、コピー用紙をはじめとする紙類などを削減しCO₂の発生を少しでも低減するように努めています。また工場では効率的な生産方法、設備の見直しなど、業務効率化のための投資も積極的に行い、CO₂の抑制につなげています。

環境配慮製品の開発

当社では、製品開発にDfE（Design for Environment=環境配慮設計）を取り入れています。開発段階から廃棄までを通した各段階で、環境配慮設計の実現度をチェックし、環境負荷をできるだけ低減することを考慮して開発しています。

また、独自のグリーン調達基準を定め、EUのRoHS指令、REACH規則に代表される環境法令を順守し、製品に含まれる化学物質によって環境や人に害を及ぼさないように努めています。

また、一例として、CO₂を排出しない次世代の車の燃料電池自動車へ、当社開発のHHVカブラの供給を行うことで、地球環境にやさしい水素社会の実現に貢献します。

日東工器は製品を通じた地球環境への取り組みばかりではなく、事業活動を通じた地球環境への負荷低減、顧客満足向上が当社の果たすべき重要課題であると認識し、社会や地域の皆さまへの貢献活動を行いながら、これからもさまざまな社会的責任を果たしていきます。

また、一日も早くコロナ禍が収まり、皆さまが健康に日々過ごせますよう切に願っております。

日東工器グループの取り組み

日東工器グループが取り組んできた新型コロナウイルス感染症対策を紹介します。

1

日東工器グループの業務での取り組み

日東工器グループでは感染症対策として以下のような取り組みを行っております。

具体的な取り組み	主な拠点
国内外の出張制限 Web 会議の活用・インフラ整備、サーマルカメラ・アルコール消毒器の設置など	日東工器（本社・各支店） 工場（国内3カ所）
時差出勤、在宅勤務 車両通勤の許可	日東工器（本社・各支店）
在宅勤務（出社率調整）	海外拠点（工場除く）



Web 会議の活用



サーマルカメラの設置



NITTO KOHKI INDUSTRY
(THAILAND)



栃木日東工器

2

医療機関にマスクと医療機器を寄贈

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療の最前線で従事している方々を支援するために、当社は各医療機関からの緊急提供要請を受け、備蓄の医療用マスク「N95マスク」を、東京医科歯科大学医学部附属病院をはじめ7カ所の医療機関や市区町村へ寄贈しました。

また、携帯型吸引器「キュータム」を、緊急提供要請のあった医療機関に無償提供させていただきました。



日東工器



白河日東工器



メドテック



栃木日東工器

3

地元企業との 特別商談会を実施

新型コロナウイルス感染拡大により経営悪化が危惧される地元企業を支援するために、2020年4月に城南信用金庫本店にて、東京都大田区・品川区の企業との特別商談会を実施しました。

今回の商談会を通じて新たな取引先との部品・技術・販売面での協力体制を検討しています。当日の商談会の様子は、各報道機関から取材され、テレビや新聞でも取り上げられました。



特別商談会

4

疫病退散のお守り 「アマビエ」キーホルダーの購入

栃木県にある障がい者就労支援施設「むつみの森」さまでは、従来製造・販売していたジャムが新型コロナウイルス感染症の流行に伴い売上が落ち込みました。同施設では、この危機を乗り越えるために、ジャムに加え、話題の疫病退散妖怪「アマビエ」の手作りキーホルダーの製造を開始しました。このキーホルダー一つ一つに栃木県壬生町の総鎮守である雄琴神社が「疫病退散」のご祈禱を施しています。

今回ご縁があり、日東工器グループが志す地域社会貢献の一環としてキーホルダーを購入し、お客さまや関係者の皆さまへ提供させていただきました。



「アマビエ」キーホルダー

5

今後の取り組み

今回の新型コロナウイルス感染拡大のような緊急事態において、自社の製品やサービスの供給継続と企業の社会的責任を果たすためには、まずは従業員と家族の命を守ることが極めて重要です。そのため当社では2020年4月7日の緊急事態宣言発令と同時に緊急対策本部を設立し、感染拡大防止と、従業員と家族ならびにステークホ

ルダーの皆さまの安全確保を目的とした各種対応にあたりました。

新型コロナウイルスに続く新たなパンデミックや南海トラフ地震、首都直下地震等の巨大地震の発生も危惧されており、今回の経験を踏まえ危機管理体制のさらなる強化に努めてまいります。

全てのステークホルダーに誠意を尽くし、信用を蓄積し続けます。

企業統治（コーポレート・ガバナンス）／内部統制

社是

開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

- ①社会に貢献する製品開発
- ②販売市場の開発
- ③人材開発
- ④組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽くすことが、会社の経営体質を強化し会社の永続的発展を保証する。すなわち「保険」であるということです。

社訓

- 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

経営方針

- 社会への貢献
- 従業員の幸福
- 会社の発展

取締役会および内部統制の役割

2021年3月現在、取締役会は5人の取締役で構成され、毎月、定例取締役会を開催しています。取締役5人のうち2人は、会社との利害関係がない社外取締役です。

取締役会において、業務を執行する取締役は、会社が成長するために必要な提案を積極的に行います。社外取締役は、その提案について中長期的な企業価値向上の観点から意見を述べ、十分に審議をした上で決議をしています。また取締役会は、会社法に基づく業務の適正を確保するための体制の整備について決議します。

内部統制システムの基本方針は、ホームページ「コーポレート・ガバナンス」に関する報告書で開示しています。内部統制システムを整備し、適切に運用することにより社会的責任を果たします。

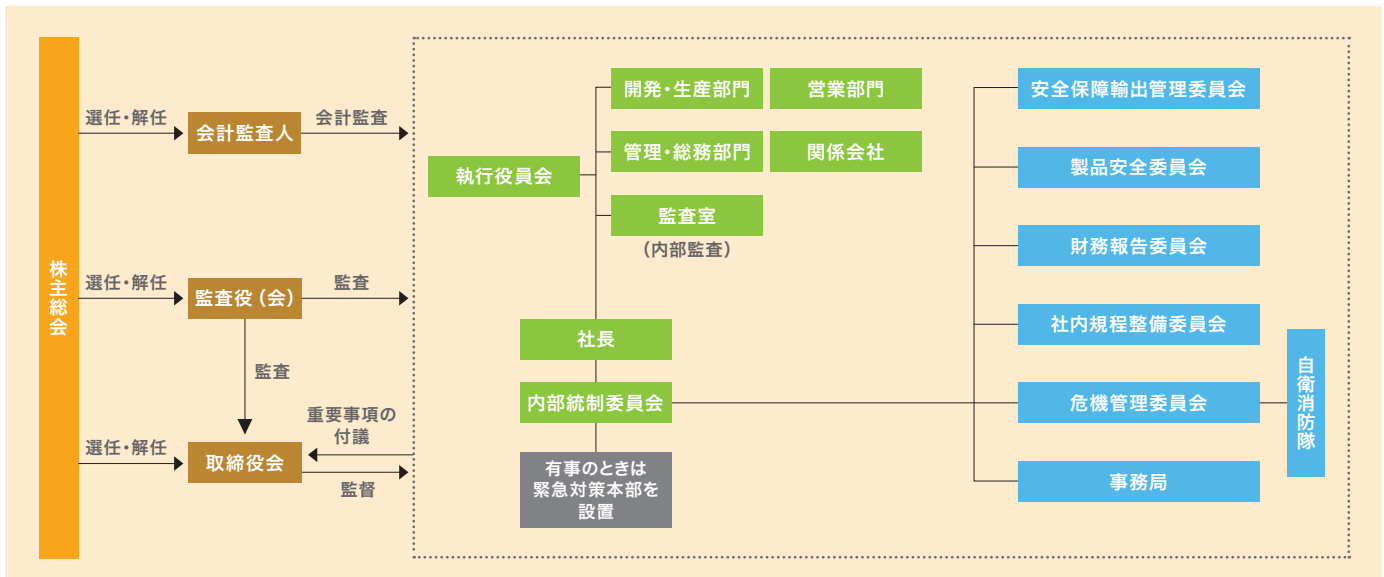
監査室は、独立した内部監査部門として社内全部門を網羅的

に、統制活動・リスク分析・情報伝達・業務改善・法令および社内規程の順守状況を客観的に評価し、経営の健全化・合理化に資するための監査を実施しています。2021年3月現在、法規制の違反や利害関係者からの要求および苦情の報告はありません。

2021年3月現在、監査役会は3人の監査役で構成され、そのうち2人が社外監査役です。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行うとともに適切に意見を述べています。

監査役は、各取締役・会計監査人・監査室（内部監査）と連携・情報収集を行います。そこで収集した監査に必要な情報をもとに毎月、定例監査役会を開催、審議を行い、必要に応じて経営改善のための提言などを行っています。

内部統制システムの状況（組織）





日東工器において、コーポレート・ガバナンスの目的は、継続的に企業価値を高めていくことであるとの認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、経営の監視が適正に機能するよう努めていきます。

コンプライアンスの整備・運用状況

● コンプライアンスへの取り組み

日東工器グループは、企業理念に基づき、法令順守はもとより社内規程・企業倫理・社会規範にのっとり、良識を持って行動するための基本事項を定めています。これを適切に運用し、コンプライアンスの徹底と社会的信用の向上を図ります。

● コンプライアンス教育

2015年7月よりコンプライアンスに関する「メールマガジン」を毎月、全社員に配信・周知しています。今後もコンプライアンス教育を実施していきます。

● コンプライアンス相談窓口

日東工器グループは「内部通報窓口」として社内、社外それぞれにホットライン（通報・相談窓口）を設置しています。併せて内部通報規程やポスターなどで、社員に「内部通報窓口」を周知しています。



BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況

当社は緊急事態で優先すべき事項を次のとおり明確化し、BCMの体制構築および運用に取り組んでおります。

事業継続マネジメントの基本方針

- ① 従業員・家族の命を守る。
- ② 製品の供給継続。
- ③ 社会的な責任を果たす。

2011年に発生した東日本大震災の早期復旧や、タイ国の大洪水で生じた工場浸水による一時的な国内工場への生産シフトの経験から、お客さまへの影響を最小限とする体制を構築しています。具体的には、生産部門は購買ルートの確保・生産のバックアップ体制、販売部門は製品提供の維持と販売・営業拠点などのバックアップ体制の構築など、事業継続のための取り組みを行っています。その他にも海外治安情報の伝達・インフルエンザ



救命講習会



防災訓練

対策・規程類の見直し・非常用品の備蓄・防災訓練・救命講習会などを計画的に行っています。

また2020年は、新型コロナウイルス感染拡大の防止と事業継続の両立を図るために、感染拡大が著しい地域においては、従業員ならびに関係者の皆さまへの感染拡大防止を最優先事項として、以下のとおり感染予防の取り組みを強化しました。

- 2020年3月初めには国内外の拠点で在宅勤務、時差出勤を実施、4月7日の緊急事態宣言発令時の本社の在宅勤務率は、政府指針の7割を超えて8割に達しました。
- 在宅勤務における働き方、勤務環境改善のため、全従業員にアンケートを実施、分析を行い、逐次在宅勤務環境の改善を行いました。

※その他当社の取り組みはP3-4Topicsを参照ください。

- 出社が必要な業務は交代制で出社。出社する場合は時差出勤や、マイカー通勤、社用営業車通勤も奨励。
- リモート営業支援のため、製品PR動画を増やして販促を強化、Web展示会システムも導入。
- 動画制作のための撮影室を社内に新設。

当社の事業継続マネジメントに対する取り組みを理解いただくため、BCMの体制および取り組みをホームページの「事業継続マネジメント」で公開しています。

Part 2

作業の省人化・省力化を軸に産業の未来を創造します。

ビジネスモデル・財務状況

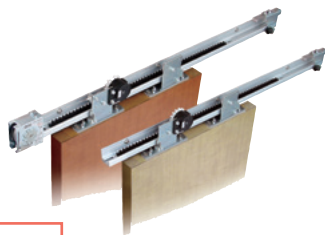
日東工器の製品

ドアクローザ
(オートヒンジ)

ドアクローザは、開けたドアを油圧とスプリングで静かに閉め、快適で安全な生活空間を提供する環境に配慮した製品です。
安全に扉を開けられるドアクローザは、バリアフリーの面からも注目され、住宅・学校・医療施設など幅広い分野で採用されており、用途に合わせた製品を開発しています。

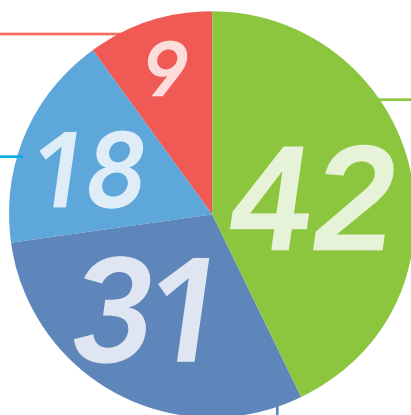
コンプレッサ&
ポンプと
その応用製品
(リニア)

日東工器が世界で初めて実用化した製品「リニア駆動ポンプ」を中心に、各種コンプレッサ&ポンプを揃えています。
これらの技術を応用し、医療・家庭向けのユニークな応用製品を展開しています。
その用途は、産業機器をはじめさまざまな分野へと拡大しています。



4分野売り上げ構成比

2020年度実績

迅速流体継手
(カプラ)

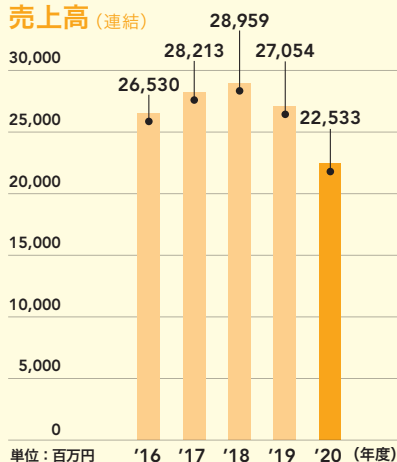
空気・水・油など流体配管の着脱を簡単に、スピーディに行う継手製品です。
世界のトップブランドとして、幅広い分野でさまざまな用途に活用されています。
生み出された製品群は25,000種類以上、業界ではトップクラスのシェアを誇り、現在では環境対応製品や、従来と異なる用途分野をマーケットに提案・提供しています。
さまざまな要求に応えるため、時代の先端をいく高品質・高性能製品の開発を進めています。

省力化機械工具と
電動ドライバ
(ツール、デルボ)

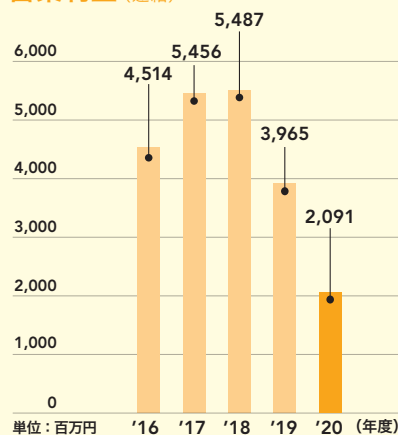
機械工具「ツール」は、さまざまな加工現場で加工形態・作業状況の多様化に合わせ、空圧・電動・油圧を駆動源とした製品群を揃えています。
パワーアップ、小型化という不変のテーマに挑戦し続け、常にニーズの一步先の要求対応を追求しています。
電動ドライバ「デルボ」は、高精度トルク管理と使いやすさなどを実現した信頼ブランドとして、世界中の精密機器分野の組立作業現場で、幅広く使用されています。

財務データ 財務データの詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.nitto-kohki.co.jp/ir/library/>

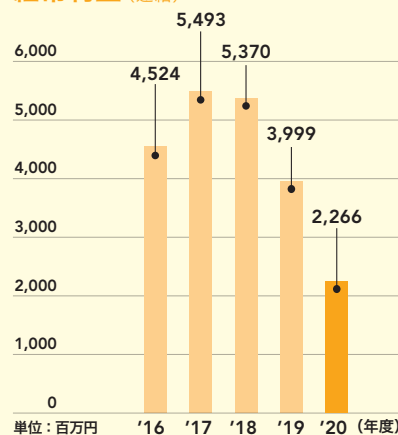
売上高 (連結)



営業利益 (連結)



経常利益 (連結)



※財務データに関する記述は発行日時点での情報からの予測であり、実際の業績などは予測と異なる可能性があります

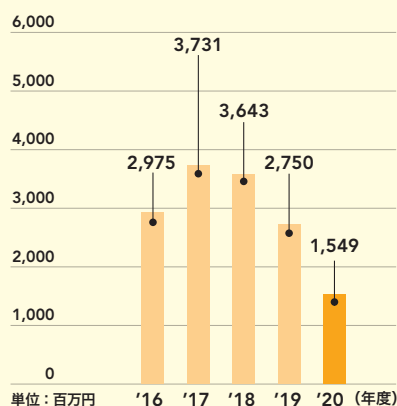


日東工器のビジネスモデル

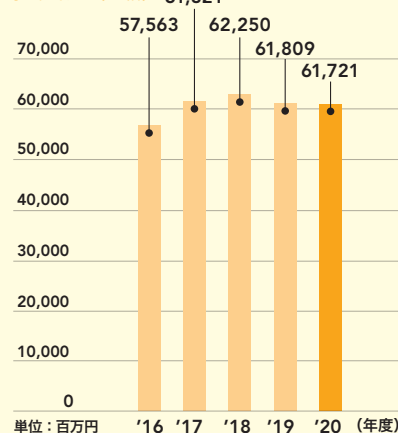


支援 ● 監査室 ● ISO推進部 ● 管理本部 ● 総務本部

親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



総資産 (連結)



会社概要

商号	日東工器株式会社
設立年月日	1956年10月22日
本社所在地	東京都大田区仲池上二丁目9番4号
資本金	18億5,032万円 (東証一部上場：機械)
従業員数	単体 459人 (連結 1,002人)
ISO9001認証の取得年月	1997年12月
ISO14001認証の取得年月	2004年5月
国内グループ会社	3社 栃木日東工器株式会社 白河日東工器株式会社 株式会社メドテック
海外グループ会社	6社 アメリカ、ドイツ、タイ、 オーストラリア (2社)、中国 (2021年3月31日現在)

社会への取り組み

お客さまへの製品提案活動を通して環境負荷の低減を行います。
お客さまとともに

日東工器グループは地球環境への負荷低減を目指し、「環境配慮製品」を含めた「提案型営業」を推進しています。

営業部門の取り組み

日東工器は、よりお客さまに近い営業活動を目指し「環境配慮製品」の紹介をはじめ、「提案型営業」を積極的に進めています。

地域密着型の展示・実演・即売会の「アタックフェア」、当社と販売店との二人三脚で、お客さまに合わせた製品の提案活動を行う「アタックキャラバン」、各種製品を備え付けたキャラバンカーでお客さまのもとに出向き、ミニ展示会を行う「出前フェア」を実施しています。各活動で行う「体感コーナー」では、製品を実際に見て・触れて・動かして、実感していただけます。

これからも、日東工器製品群とマーケットを熟知した販売店で構成する、独自の販売・流通組織「日東会」と連携し、地域に密着したきめ細かな活動を展開し、社会との絆を大切に、お客さまのためになる製品の普及に努めていきます。

2020年度はコロナの影響で、従来の対面活動の多くを自粛しました。

2020年度実績

アタックフェア

0回

アタックキャラバン

39回 (213日)

出前フェア

187回

コロナ禍でも「お客さまとともに」

2020年はコロナの影響で、お客さまの所へ訪問して、製品を見て・触れて・動かしてもらい、一緒に考え提案する従来の活動が非常に難しい状況になりました。そこで、お客さまを直接訪問せず、お客さまの役に立つようさまざまな新たな試みを行いました。

1. オンライン (Web) 幹事店幹部会 (2020/5)

例年、5月から6月にかけて開催している日東会幹事店幹部会は、日東工器初のオンライン開催となりました。



2. YouTube動画拡充

お客さまと直接会うことが難しいため、製品を見て・触れて・動かしてもらい代わりにYouTubeの動画を拡充しています。

※2021/3末：479本（日本語152本、外国語327本）



3. オンライン商談 (2020/12開設)

HPのトップ画面上に「オンライン商談窓口」を開設しました。



4. パーチャル展示会

展示会の実開催が難しいことから、まずはインドネシア向けにオンライン展示会（バーチャルアタックフェア）を開催。順次、海外他地域や国内での開催を計画中です。





2

学生たちに日東工器の「モノづくり」に対する姿勢を伝えていきます。

学生との関わり

日東工器の採用活動では学生一人一人と理解を深め、ありのままの日東工器を知ってもらうことに重きを置いています。「インターンシップによる学生の受け入れ」「働く現場説明会」など、学生との触れ合いを通じてモノづくり産業に貢献しています。

会社説明会から入社まで

機械工具業界では知名度の高い当社ですが、就職活動中の多くの学生は「日東工器」を知りません。そのため当社は、日東工器と学生一人一人との「相互理解」を重視しています。

学生の皆さんには、単に「良い会社」ではなく「自分に合う会社」を選んでほしいため、会社説明会では事業内容や製品だけではなく、「社是」「経営方針」「スローガン」についても説明します。

面接は少人数単位で実施します。また、最終面接後に人事担当者と面談を行い、お互いにしっかりと理解を深めたことを確認して正式内定します。

2020年度の内定者については、コロナの影響で対面での説明会や、内定時に毎年行っているグループ会社工場の見学会の開催ができなくなりましたが、入社までの不安の解消や日東工器で働くことへの理解を深めてもらうため、オンラインでの内定者同士の懇親会や、若手社員との座談会を複数回実施しました。

当社は、採用する学生一人一人の定着を見据えて、「相互理解」を重視した採用活動を実施しています。

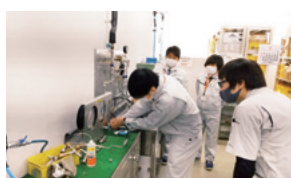


1day仕事体験による学生の受け入れ

日東工器は大学生・大学院生を対象とした1day仕事体験を実施しています。2020年度は夏季にオンライン形式を中心に5回実施し、約30名の学生が参加しました。冬季には少人数制の理系限定の来社型プログラムを、感染症対策を講じながら7回開催し、約50名の学生が参加しました。

1day仕事体験実施当日は開発部門の若手社員が中心になって仕事体験の指導、座談会の対応などを行いました。参加学生からは、「品質へのこだわりを知ることができた」「会社や社員の良い雰囲気を感じた」「説明が丁寧で分かりやすかった」「大学とは違う体験で、よりモノづくりに興味を持った」などの好意的な感想を多く聞けました。

今後も学生にとって「社会・業界を学ぶきっかけ」「日東工器を深く知る機会」となるようなインターンシップを開催していきます。



3
Part

社員が安心して暮らしていけるように、より良い職場環境を目指します。 社員との関わり

日東工器グループは、社員の皆さんが安心できる職場づくりに力を入れています。社員向け決算発表会、社員向けライフプランセミナーなどを通じて会社を理解していただき、信頼される企業を目指しています。

ライフプランセミナー・ハラスメント防止研修

日東工器グループでは、社員が安心できる職場環境の構築のために各種セミナー・研修を実施しています。2020年度はライフプランセミナー・ハラスメント防止研修を実施しました。

①ライフプランセミナー

50歳以上の社員を対象とした「日東工器グループライフプランセミナー」を2020年10月にコロナウイルス感染防止対策を行った上で開催し、同席を希望する配偶者の方も含め、約20人が参加しました。定年後や退職後の過ごし方について、各個人がどのような生き方をしたいか、生きがいについて、そのために必要なお金の計算、今から備えておくべきことなど、さまざまなアドバイスが行われました。

②ハラスメント防止研修

2020年6月の「パワハラ防止法」施行を背景に、日東工器グループでは「ハラスメント防止規程」を制定しました。また、全従業員を対象とした「ハラスメント防止研修」を開催しました。

業員を対象とした「ハラスメント防止研修」を開催しました。

研修テーマは、「ハラスメントのない職場づくり」。パワハラに限らず、一人一人が「どうしたらハラスメントをなくすることができるか」を考えながら行動できるように、具体的なケーススタディ主体の実践的な研修を行いました。

今後も、健全な職場環境づくりのために、継続的な研修を実施していきます。



SDGsへの取り組み

日東工器グループは、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。

日東工器グループ社員のSDGsへの理解を高めるため、2020年度は新たに以下2点の取り組みを実施しました。

●社内研修…外部講師を招いた研修の実施

●「未来の実」※…「SDGsを基に、企業で取り組み可能な活動『新しい社会貢献制度』を考えてみよう!」をテーマに募集

社内研修は、「SDGsとは何か」を詳しく学ぶ機会となり、当日に参加できなかった社員も後日ビデオ視聴で学習し、グループ全体で幅広く知識を習得することができました。なお、研修受講前後に実施したアンケートでは、SDGsへの理解度平均が研修受講前24.1%であったのに対し、研修受講後は76.3%へと大幅に上昇し、研修を通じてさまざまな知識を吸収できた様子が数値としても現れる結果となりました。

また、これまで「新製品開発」をテーマに募集してきた「未来

の実」も、今回はテーマを一新。全従業員が「SDGsとは何か」を考え見つけ直す機会となり、計132件の作品が集まりました。今回大賞に選ばれた2点の制度提案は、今後日東工器グループの取り組みとしての採用を目指していきます。



※「未来の実」：日東工器グループの従業員全員が、新製品や新制度について提案する社内恒例行事

日東工器 創立記念式典

創立64周年の記念式典を、2020年10月22日に開催しました。式典は出席者をできるだけ絞り、またWebでの視聴を行い実施しました。式典では、社長からのメッセージが伝えられ、活躍が認められた社員に右記の各賞が授与されました。

- 勤続30年目の社員に贈られる「永年勤続表彰」
- 優れた開発・発明に贈られる「発明報償表彰」
- 「技術ノウハウ報償表彰」
- 改善提案活動に贈られる「改善提案賞表彰」
- SDGs取り組みのアイデアに贈られる「未来の実表彰」



4 Part

地域の皆さまと良好な関係を築き、社会に貢献します。

地域および社会との関わり

日東工器グループは地域の皆さまと良好な関係を築き、ともに成長していきたいと考えています。
今後も事業活動に加え、さまざまな活動を通じて地域や社会に貢献していきます。

地域小学校へ出張授業

日東工器本社では、近隣の東京都大田区立久原小学校の社会科見学として、会社訪問を受け入れていました。しかし、2020年度はコロナの影響により校外活動ができなくなったため、当社社員が小学校を訪問して出張授業を行いました。

「製品ができるまで」という内容で日東工器を代表する携帯式磁気穴あけ機「アトラ」の製造工程を紹介しました。「アトラ」で鋼材に穴をあけたり、分解図や製造している工場の様子を動画で見せました。また、子どもたちが製造工程をイメージしやすいよう、金属の成型工程は、たい焼き作りに例えて授業を行いました。

真剣なまなざしの子どもたちからは質問が途切れることなく、

好奇心でいっぱいな印象でした。想定外の質問もあり、説明員も楽しみながら答えていました。

子どもたちにモノづくりを身近なものに感じてもらえるよう、地域での社会活動を続けていきます。



「おしごと年鑑2020」で迅速流体継手「カブラ」を紹介

「おしごと年鑑」（朝日新聞社）は全国の国公立小中学校に向けた教育読本です。毎年7万部程度発行され、さまざまな業種や団体が掲載されています。この「おしごと年鑑2020」に日東工器が登場しました。「未来を生み出す科学技術のお仕事」として、「工場などで欠かせないという『カブラ』っていったい何？」という題目で、迅速流体継手「カブラ」をイラストで分かりやすく紹介しています。また、「ロゴロゴ大辞典」でのページでは、当社のロゴマークの意味を記載しています。

2020年4月より、小中学校の学習指導要領に新しく、「キャリア教育」が加わりました。企業や団体の仕事や取り組みを理解してもらい、子どもたちに早くから将来の仕事や社会への興味関心を持たせることが求められています。製品への理解を通じて日東工器を知ってもらえるよう、子どもたちへの教育活動を積極的に行っていきます。

Webサイト：<https://oshihaku.jp/nenkan/page/13727359>

清掃活動と防災学習～西日本支社～

2011年からスタートした地域の清掃活動ですが、今では近隣の皆さんとのあいさつもぎこちなさが薄れ、声を掛け合いながら活動をしています。最近では他の企業も同様に実施されている姿を見掛けるようになりました。

また、大きな災害を一度も経験したことがない世代にも“備え

ること”の大切さを学んでもらおうと、2020年度は「東大阪市消防局防災学習センター」で災害について学びました。

日頃から地域の方々とコミュニケーションを取り、困った時には助け合えるよう、人を想う活動に取り組んでいきます。

中日本支社救命講習受講

2020年度も中日本支社では救命講習としてAEDや人形を用いた救急蘇生法の講習会を実施しました。講習会では、突然死の原因の大半を占める心肺停止は、停止直後からの時間経過で、助かる可能性が急激に低くなることが分かり、119番通報から救急車到着までの間の蘇生対応がいかに重要かが説明されました。加えて重要なことは、心肺蘇生の要否判断で、呼吸の有無が定かでない場合も、直ちに心肺蘇生とAED使用開始が必要だと学びました。

また、心肺蘇生の要否判断を誤った事故が起きた学校が、偶然にも受講した社員の母校と知り、人の生死を分ける救命処置

をすべき場面が、身近にいつでも起きる可能性があることを再認識しました。いざという場面で正しい行動を躊躇しない心構えを持てるよう今後も継続して救命講習会を実施していきます。



環境への取り組み

環境と人に優しく、持続可能な経営を実現させます。

日東工器が目指す環境経営

ISO14001を基本として、環境に配慮した省力化・省エネルギー製品の開発、さらに生産効率化と省エネルギー生産、廃棄物の削減、営業活動、製品輸送、サービス対応活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進していきます。

日東工器の重要な環境課題

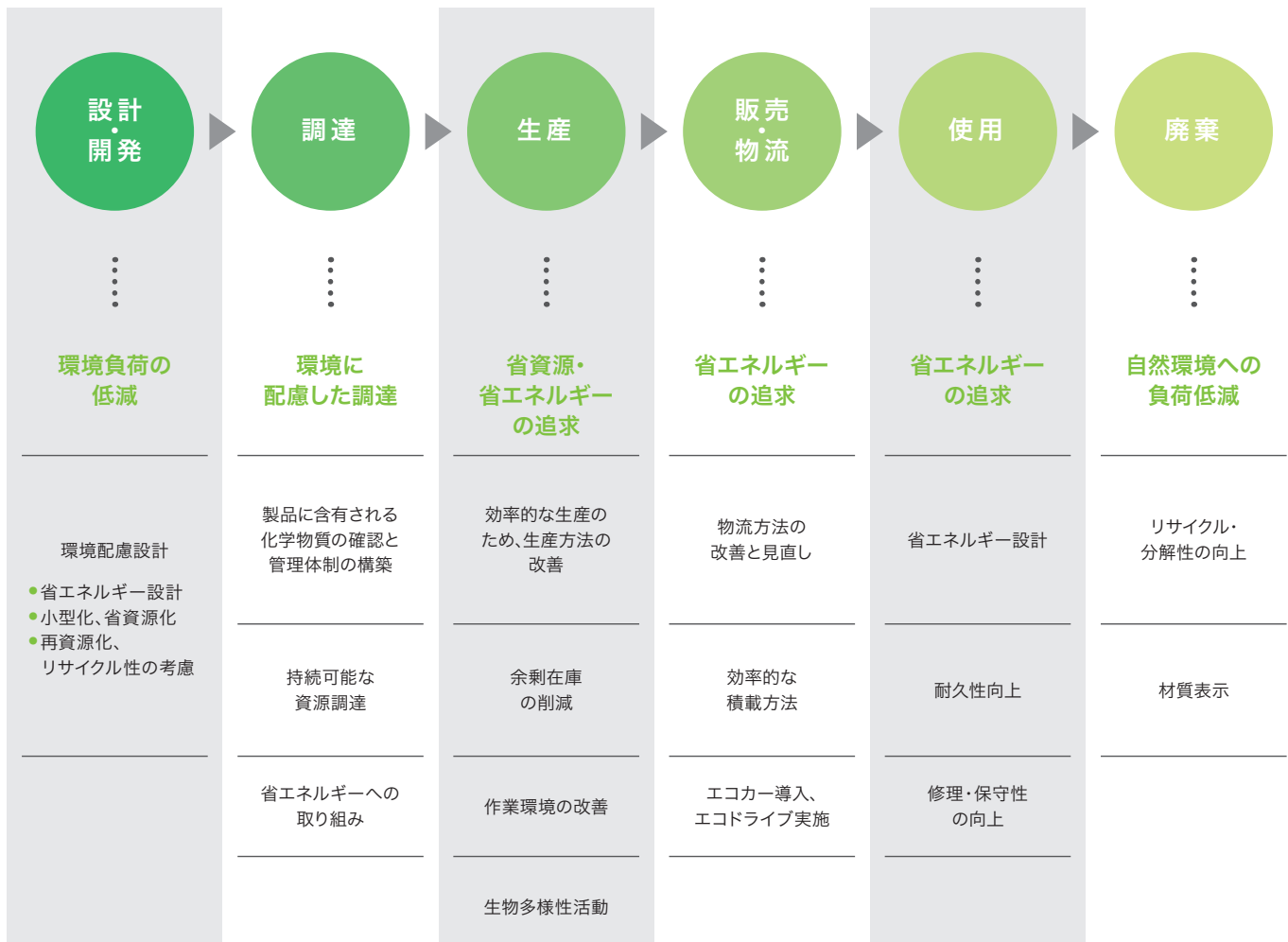
日東工器は省力化・省エネルギー製品の開発・生産・販売を行うメーカーです。その事業活動の中で環境に影響を与える主要な環境課題となるものは、以下になります。当社はISO14001・

ISO9001の規格にのっとり、これらを重要環境課題として認識し、取り組んでいます。

- ① 開発製品の環境負荷の低減（環境配慮設計）
- ② 製品含有化学物質の管理と体制の構築
- ③ 効率的な生産の追求
- ④ 開発・生産・販売、通常の業務におけるCO₂排出量の削減（電力・ガソリンなどの使用量、廃棄物排出量、紙類リサイクル量など）

日東工器のバリューチェーン

日東工器は、設計・開発から調達、生産、販売・物流、使用、廃棄までの各ステップで、環境への負荷低減を意識した取り組みをしています。





2 Part

地球環境への負荷低減、顧客満足向上を重要課題とし、積極的に取り組みます。

品質・環境方針／

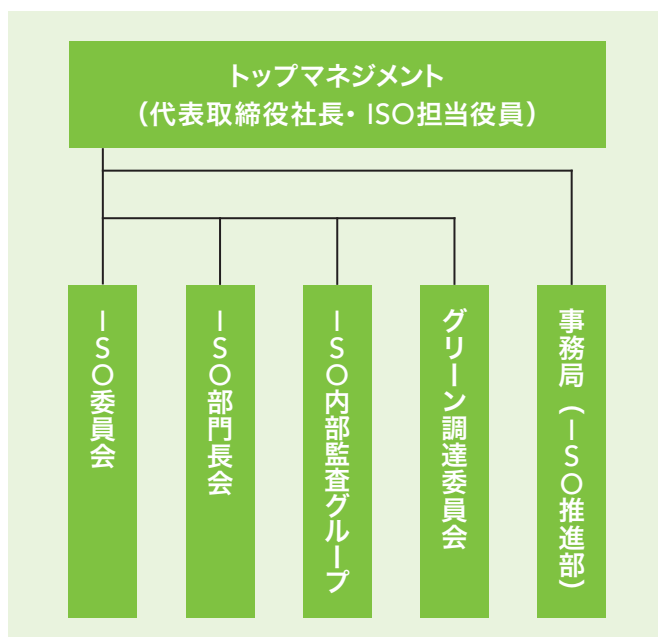
品質・環境マネジメントシステム

ISO9001および14001を基に、製品開発・生産・営業活動・輸送・サービス活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮し、顧客満足の向上を図り、持続可能な経営を推進していきます。

品質・環境方針〈ISO9001・14001〉

- 1 日東工器株式会社は、全従業員一人一人がISO（品質および環境マネジメントシステム）を有効に活用し、迅速流体継手「カブラ」、機械工具（空圧機器／油圧機器／電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）などの製品設計から販売までの業務および、それ以外全ての業務において製品品質保全を包括した顧客満足向上、環境保全に努めます。
- 2 環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。
- 3 企業活動における順守義務事項を順守します。
- 4 品質および環境目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、事業活動と整合した活動として品質および環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 5 企業活動における業務プロセスを明確化し、業務改善を図ります。
- 6 この方針は文書化し、全従業員に周知徹底するとともに、社外からの求めに応じて公開します。

品質・環境マネジメント体制



品質・環境マネジメントシステムの運用

- ①ISO部門長会議：1回／年
年間の活動状況の報告・ISO内部監査結果や次年度の活動について伝達を行います。
- ②ISO委員会：1回／月
各部門実績報告より、目標に対する進捗状況確認・年間計画の実施・各部門へ周知事項の伝達などを行います。
- ③ISO内部監査：2回／年
ISO9001/14001規格対応状況・業務における有効性・業務活動自体の効率性・弱点または優れた点を顕在化させ、改善を図ります。
- ④マネジメントレビュー：2回／年
経営企画部およびISO管理責任者が、「ISOマネジメントレビュー報告書」を作成し、トップマネジメントへ活動総括を報告します。
トップマネジメントは、報告書でISO活動の定期レビューを実施します。

3
Part

環境と人に優しい安全性を追求します。

製品含有化学物質への取り組み

日東工器は、環境法規制順守・グリーン調達・製品含有化学物質調査・社員の環境教育などを通じて、より安全な製品を生産する仕組みを構築しています。

環境に関する法規制順守状況

日東工器で制定した「グリーン調達基準」の全製品対応において、一部製品に規制値を超えた含有が確認されました。この

対応処置の詳細は、当社ホームページに公開しています。その他、環境に関する法令違反・指導・苦情はありません。

グリーン調達

日東工器は、品質や価格だけでなく環境にも配慮します。環境負荷が小さい材料・部品・資材などを、環境負荷の軽減に努める仕入れ先さまから、優先して購入する取り組みを実施しています。

①グリーン調達方針

グリーン調達方針は、方針を定める目的・適用する範囲などを制定し、日東工器に関わりのあるさまざまな人に開示して、日東工器の企業姿勢を表明しています。

②グリーン調達基準

生産活動に関わる仕入れ先さまに、日東工器のグリーン調達の考え方と、各種法規制順守の要請を行う基準です。本文と管理化学物質リストで構成され、仕入れ先さまは日東工器のホームページからダウンロードできます。2004年に制定し、2021年4月現在9.3版を開示しています。

③グリーン調達委員会

グリーン調達活動を推進することを目的とした組織です。商品事業部・生産事業部・各生産拠点から委員が出席し、毎月グリーン調達活動におけるさまざまな議案を討議しています。

2020年度の活動では、RoHS(II)指令の鉛適用除外用途改正に伴い、各製品群別に各種材料代替対応を進めました。しかし、欧州議会および理事会での期限延長審議（期日未確定）を受け、日東工器でも期日決定まで代替対応を延期することとしました。

これら対応の一部例外事項については、対応状況を当社ホームページ上でお知らせしています。

④日東工器の製品含有化学物質調査

JAMP^{※1}に会員として加盟し、2020年度は「chemSHERPA^{※2}」による調査管理を行ってきました。同様に仕入れ先さまにも「chemSHERPA」による調査を依頼し、調査実施・管理していただきました。

※1 JAMP（アーティクルマネジメント推進協議会）：

化学物質情報を適切に管理し、円滑に開示・伝達する仕組みをつくり普及させるために発足した、製造業界横断の活動推進団体

※2 「chemSHERPA」：経済産業省主導で2015年にリリースされた化学物質の情報伝達ツール。国際規格IEC62474に準拠している

環境教育の実施状況

2020年度の日東工器およびグループ各社の環境教育実施状況です。今後もさまざまな観点より、必要な教育を実施します。

	日東工器		栃木日東工器		白河日東工器		メドテック	
内訳	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数
合計	67回	1,113人	29回	335人	8回	110人	13回	269人
環境役割者教育	13回	77人	—	—	1回	2人	2回	11人
環境外部セミナー	3回	21人	—	—	0回	0人	3回	6人
専門者教育	—	—	9回	81人	0回	0人	—	—
新人環境教育	2回	21人	2回	7人	1回	5人	—	—
環境一般教育	45回	640人	14回	182人	5回	95人	3回	73人
緊急事態訓練	4回	354人	4回	65人	1回	8人	5回	179人



4

省エネルギー・省資源に努めCO₂排出量を削減していきます。

地球温暖化対策・廃棄物の削減

日東工器は環境方針にのっとり、リデュース・リユース・リサイクルの推進を通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球温暖化防止のため省エネルギー・省資源への取り組みを推進しています。

地球温暖化防止に向けた活動

●地球温暖化防止に向けた活動

日東工器はこれまでに、環境に配慮した製品の開発、電力の削減、燃費の改善、ペーパーレスの取り組み、資源のリサイクルなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

一つ一つは小さな効果ですが、それらを積み重ね少しでも地球環境改善に貢献できるよう、各部門で目標を設定し、活動を続けています。

●CO₂排出量

CO₂排出量実績について、今回環境省が公表している排出係数に基づく算出へと見直しを行いました。それに伴い、過去のCO₂排出量実績についても各年の排出係数に基づいた算出へ見直しました。

2020年度の日東工器CO₂排出量の実績は、1,112tとなり前年度に比べて33t減少しました。日東工器のCO₂排出量の割合は、電力が約83%、自動車用の燃料が約12%で、この2つで約95%を占めています。

なお、CO₂以外の温室効果ガスについては、排出していません。(図1参照)

●電力使用量

2020年度の日東工器の電力使用量は、2,016kWhと前年度に比べ97kWh増加しました。これは、実験設備の稼働増加によるものです。

(図2参照)

廃棄物の削減

●廃棄物排出量

2020年度の日東工器の廃棄物排出量は、14.6tと前年度に比べ6.5t減少しました。廃棄物は廃棄時に材質などから14種類に分類し、できるだけ後工程に負荷をかけずリサイクルできるように対応しています。(図3参照)

●紙類リサイクル量

2020年度の日東工器の紙類のリサイクル量は、24.7tと前年度に比べ12.3t減少しました。(図4参照)

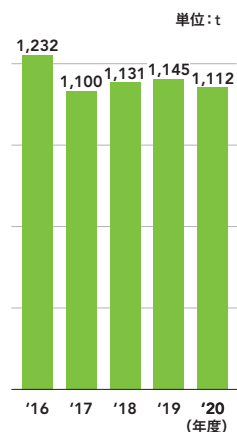
●コピー用紙使用量

各部門の業務改善の積み重ねや、裏紙の再利用などによるコピー用紙の有効利用は浸透しています。2020年度コピー用紙使用量は、3.3tで、前年度に比べ2.9t減少しました。

(図5参照)

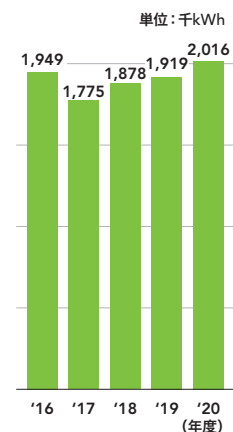
●CO₂排出量の推移

(日東工器)(図1)



●電力使用量の推移

(日東工器)(図2)



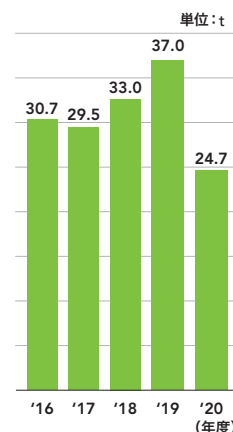
●廃棄物排出量の推移

(日東工器)(図3)



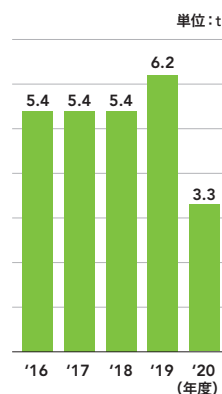
●紙類リサイクル量の推移

(日東工器)(図4)



●コピー用紙使用量の推移

(日東工器)(図5)



5
Part

環境負荷の低減を目指し、環境への影響の「見える化」に、継続的に取り組んでいきます。

環境への影響について

日東工器グループの国内拠点において、2020年度に投入したエネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量および製品として出荷した量は以下のとおりです。



エネルギー



原材料



水



製品



二酸化炭素



リサイクル



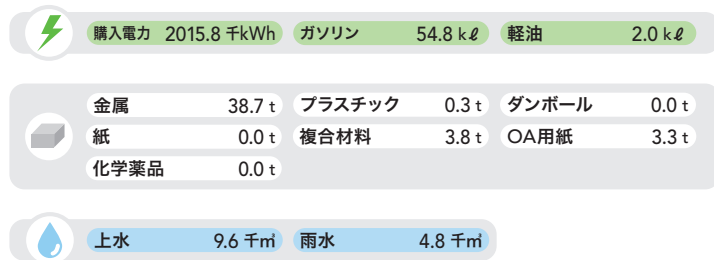
廃棄物



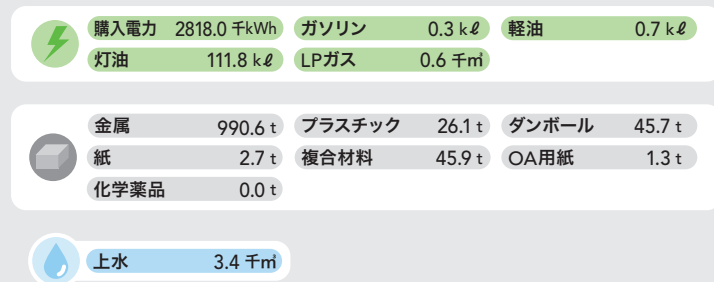
排水

INPUT

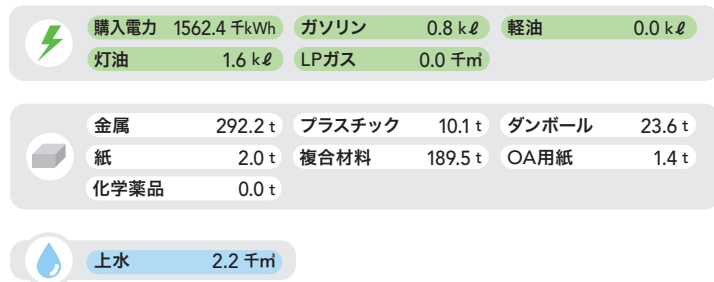
日東工器



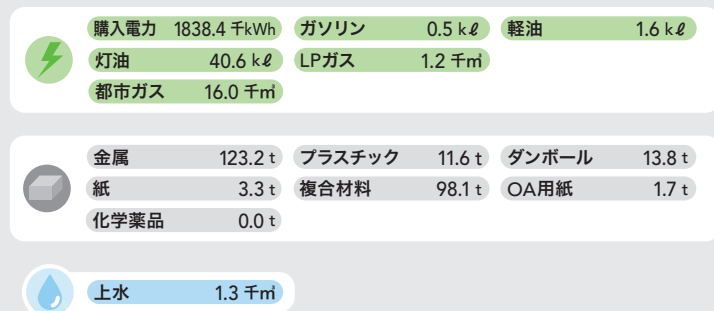
栃木日東工器



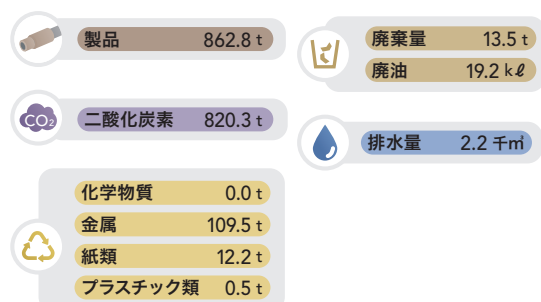
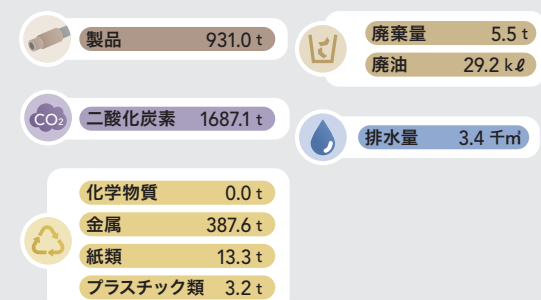
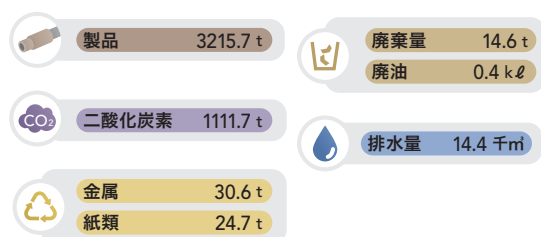
白河日東工器



メドテック



OUTPUT





6 Part

緑の中の本社・研究所で省エネルギーとともに環境への意識を育みます。

オフィスの取り組み

本社オフィスは、空調管理に省エネルギー技術を採用しています。

自然の力をうまく取り入れることによって、環境に負荷をかけることなく、1年を通じてオフィス内を快適な状態に保つことができます。オフィスでの取り組みを紹介します。

日東工器本社



日東工器の本社社屋はさまざまな環境への配慮をしています。

社屋の環境対応では、オフィスには大開口のペアガラスを採用し、日中は外光を取り入れながら熱の出入りを抑え、節電につなげることができます。

建物外観の大きな特徴となっているルーバー（電動外部ブラインド）は壁面の放射熱を約90%カットし、省エネルギー化に貢献します。

オフィスの空調は、天井に設置したアルミ製の放射空調パネルで行います。冷房はパネルに冷水を流し、冷気でオフィス内を快適な温度に保ちます。加えてアンダーフロア空調という床下からの空調も導入しました。涼しい季節は、空調を停止して、窓際の天井部分と網戸で自然換気を行っています。従来方式の空調に比べて30%程度も省エネルギー効果があります。

社屋の給水システムでは、雨水を地下貯水槽に溜め、トイレの排水用に利用しています。その効果で、本社の上水道使用量は通常より40～50%削減が可能です。

空調設備による換気

左記に記載の本社空調設備は、コロナウイルス感染症への対策においても大いに効果があります。本設備は本社事務棟の各フロアに導入されていますが、温度調節、湿度調節、除塵の機能のほかに、自動制御の換気機能を併せ持っており、感染症対策にも有効です。

感染症対策について厚生労働省は必要換気量（1人あたり毎時30m³）の確保や室温18℃以上・湿度40%以上の維持を推奨しています。本設備があることで、この基準に準ずる状態が保てます。執務エリア（会議室など除く）の窓の開閉による換気が不要なため、室温・湿度の低下を防ぐことができます。より良い空気環境を保つのに欠かせない設備です。



7
Part独自の技術と設計で皆さまの環境保全に貢献します。
製品開発

日東工器は開発面でも環境貢献に力を入れています。環境配慮設計（DfE=Design for Environment）評価の採用もその一つです。今後も独自の技術開発で環境保全に努めます。

自社製品コンセプト

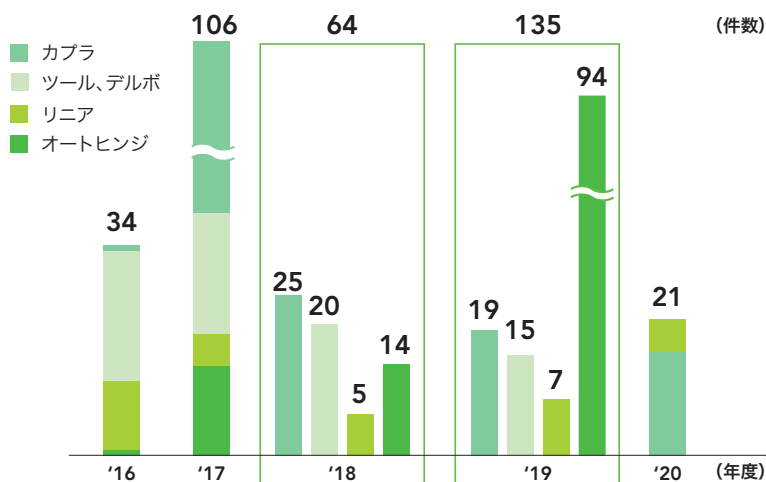
日東工器は創業から半世紀余にわたり、一貫して人間に焦点を当て、独創的な技術を活かしたモノづくりを行っています。当社製品が目指してきたのは「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」であり、使う人の立場で社会に貢献し続けることです。

こんにちでは「カブラ」「ツール、デルボ」「リニア」「オートヒンジ」の4事業でさまざまな製品を世の中に送り出し、いづれも高い評価をいただいています。

環境配慮設計

日東工器で、新製品や改良製品を設計する際に取り入れているのがDfEです。DfEとは、開発段階からお客さまの製品廃棄時までを通した各段階で、環境負荷をできるだけ低減する設計のことです。

2016年度からは、既存製品についてもDfE再評価を実施しています。DfEを2004年度から導入し、2020年度までの17年間で累計534件の環境配慮製品を開発・改良・再評価しました。



モノがたり

お客さまの要望をふんだんに搭載

ブラシレスデルボCシリーズ（電流制御タイプ）DLV45C

開発のきっかけは、Cシリーズの高トルク版が欲しいという声でした。それに伴い、ユーザーや営業部門からの要望や、あったらいいなという機能を搭載しました。

また、今まで特に要望の多かった締め付けトルクの確認が、本製品と別売品「ねじ締めモニタ」との組み合わせで可能です。その他の新機能や特徴は、製品カタログや動画、取扱説明書をぜひご覧ください。

国内向けは2020年12月から、海外向けは2021年1月から上市を開始しました。M3（ねじ径3mm）以上の有力マーケットである自動車業界で採用され、ロボット搭載用途としても引き合いが出ています。ユーザーからの、複数の電動ドライバを1台にできないかとの長年にわたる要望を実現し、30台分を1台に集約した「DLV45C」は好評を得ています。

また、これまでトルク値出力の要望を多数いただきましたが、別売品の「ねじ締めモニタ」との組み合わせで、「DLV45C」のトルク値（換算値）の「見える化」が可能になり、品質管理に貢献できると考えます。今後もユーザーの要望に応える開発・製品化をより一層進めていきます。

特徴

最大30台分の電動ドライバの機能をこの1台に集約、先端のLEDでねじ締めのOK/NGやドライバの状態を確認できます。

主な仕様

トルク幅：0.6～4.5 N・m
トルク電流制御式／低電圧ブラシレスモータ／ESD保護（帯電防止性能）／手持ち／自動機両用／9段階の回転速度調整機能／3段階の自動速度可変機能／ねじ締めカウンタ機能内蔵／2通りの外部入出力信号用接続ポート



燃料電池自動車「MIRAI」に採用 HHVカプラ

燃料電池自動車用の高圧水素充てん用迅速流体継手「HHV カプラ」は、全国の水素ステーションで高圧水素ガスを燃料電池自動車（FCV）へ供給する際の車両側充てん口（以下「レセプタクル」）です。本レセプタクルは、2020年12月に発売を開始したトヨタ自動車株式会社の新型「MIRAI」に採用されました。

独自の内部構造により車両側からの水素ガスの逆流防止や車両への異物の流入防止といった機能を備え、また、長年培ってきたシール技術により超高压（70MPa）環境においても安定したシール性を発揮しています。

レセプタクル接続部分は国内外の規格に対応しており、世界各地の水素ステーションで水素ガスをFCVに充てん

できます。FCVは、走行時に地球温暖化の原因となるCO₂を排出しない究極のエコカーです。当社は水素利用の拡大によるCO₂削減をはじめ持続可能な社会の実現に貢献します。

※燃料電池自動車：Fuel Cell Vehicle



新型「MIRAI」の水素接続口



高圧水素充てん用迅速流体継手「HHVカプラ」

家庭用エアマッサージ器 ドクターメドマー DM-4S

「ドクターメドマー DM-4S」は、従来の「ドクターメドマー DM-6000」に新しい機能を追加し、デザインを一新した製品です。従来製品に比べ、本体サイズは約30%ダウンし、色はピンクとブルーの2色をラインアップしています。新しいマッサージ機能として、より強い圧迫感が欲しいというユーザーの声に応え、「ブーストモード」を新設。新開発のアタッチメント「ショートパンツSP-4S」で太ももからおしり全体を集中的にマッサージできます。新しいモードとアタッチメントにより、病院、整骨院、リハビリ施設などの医療分野や、疲労回復を目的に使用するスポーツ分野のユーザーにご使用いただくことを視野に入れています。

主な特徴

- ① 製品デザインを一新／2020年度グッドデザイン賞を受賞
- ② 運転モードや加圧中の気室をLEDアニメーションで表示
- ③ 従来品よりも強い圧迫感のある「ブーストモード」新設
- ④ 新アタッチメント、太ももからおしり全体をマッサージできる「ショートパンツ」を追加



スライディングクローザ Cシリーズ／CVシリーズ

当社のスライディングクローザは、電源無しで小さな力で軽く開き、好みのスピードで静かに確実に自動的に閉まる引き戸専用のクローザで、特徴は以下の通りです。

- ① 子どもや高齢者、身体の不自由な方でも小さな力で軽く開扉ができます。
- ② 強化樹脂戸車とアルミレールで非常に静かな開閉ができます。
- ③ 左右勝手兼用。簡単な操作で左右勝手の切換ができます。
- ④ 木製建具、鋼製建具、重量鋼製建具などさまざまな用途に対応できるよう豊富なシリーズとオプション製品をご用意しています。

これらの特徴により、当社のスライディングクローザは病院、老人ホーム、公共施設など、幅広い用途でご使用いただける、環境と人に優しい商品となっています。



8
Part安全・品質・環境に配慮し、より効果的な取り組みを目指します。
生産部門の取り組み

栃木日東工器

●小集団改善活動・生産改善紹介

栃木日東工器では、小集団活動で生産改善を進め、合理化・省力化に努めています。

例として、カプラ製品のマーキング工程を取り上げます。栃木日東工器で生産しているカプラ製品は、約25,000種類におよび、製品の大きさや形状もさまざまです。製品識別のために、型式などをマーキングしていますが、製品によってマーキングする位置も内容もそれぞれ異なります。従来のマーキング工程は、作業者が製品型式ごとに印字内容を設定し、設備への対象品配置や印字後の交換を手作業で行う、いわば半自動設備でした。

そこで、作業効率向上を目指し、設備の段取り簡素化と、さまざまな印字内容への対応合理化を、小集団活動の改善テーマとしました。

このテーマでは、以下の3つのポイントに注意して設備改善を目指しました。

- ①マーキング対象品を自動判別し印字する内容と位置を決定する
- ②円周上に自動的にマーキングを実施する
- ③マーキング対象品の配置・交換を自動化する

以上を目標に小集団チームで、各条件をクリアするため試行錯誤し、不具合を抽出し検討を重ねました。

その結果、作業効率と作業安全性を改善できる設備を考案しました。

考案した設備を生産ラインへ試験導入したところ、従来は作業者の手作業だったマーキング対象品の設備への供給・排出を自動化でき、合理化だけでなく生産ラインの省力化と作業者の安全性も向上する設備が完成しました。

今後も、作業環境に配慮した使いやすい設備構築を進めていきます。



マーキング設備外観



マーキング設備内部

メドテック

●小集団改善活動の紹介

メドテックでは、小集団改善活動を通して多くの生産改善に取り組んでいます。2020年度で効果の高かった改善例として、以下の2点を紹介します。

- ①バリ除去用ブラシ：部品切削加工時に発生するバリの、人手による除去作業省略を目的に、設備内での自動除去を目指して改善・検証を繰り返し、バリ発生を抑制する刃物やブラシを考案し実現しました。
- ②特殊測定器：部品内径検査時、従来は内径寸法ごとに複数回測定していた多段内径検査を、1回で測定できる特殊測定器を開発し、検査工数低減が可能になりました。

●生産改善紹介

メドテックでは、生産ラインの効率化と省力化による生産性向上と、環境負荷

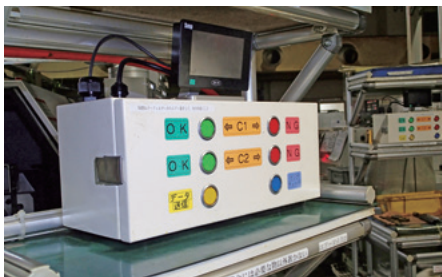
低減を目的に、環状刃物の工程集約と無人運転の拡大を目指し、新しい生産ラインの構築に取り組みました。

従来は複数の工程で各工程1台ずつ設備を用いて加工していましたが、生産ラインを再構築し複数工程を1台の設備に集約させ、ロボットによる無人運転を可能にしました。無人運転は最大32時間稼働し、各工程の仕掛けや歩留まり、段取り時間の削減にもつながっています。

また、各工程に分割して加工することも可能なため、有入稼働時間帯に小ロットの加工や、各工程に分割するなど、効率を考慮したフレキシブルな生産にも対応可能です。新しいラインの構築により、設備負荷の均一化、工程集約によるロスの削減、長時間無人運転による効率化、省力化を実現しました。今後も生産改善活動に取り組み、効率化、省人化、ロスの低減を図っていきます。



バリ除去用ブラシ加工



特殊測定器



メーカーである日東工器にとって、生産現場での改善活動と環境への取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出す生産拠点で、どのような取り組みが行われているのか、国内外の主要な生産拠点を例にとって説明します。

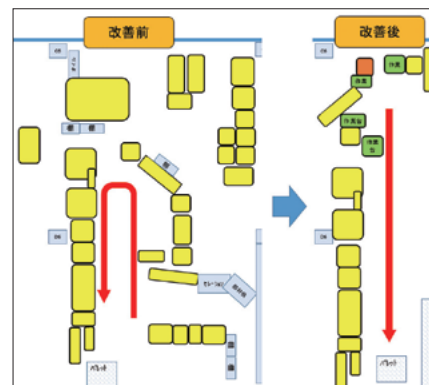
白河日東工器

●小集団改善活動の紹介

2020年度、白河日東工器ではコロナの影響による限られた活動時間の中、自分たちで取り組めることとして、前年度から引き続き現場単位で「2S（整理・整頓）活動」を主とした改善活動を実施しました。老朽化した生産用工具類の廃棄、常時使用工具類の定位置化、スペースの空いた収納棚の撤去、その他オフィスの机・棚・事務用品などの使用しない備品類は全て整理しました。工場内が整理整頓された結果、スペースの有効活用や適切な

レイアウト変更、組立現場の作業効率改善、生産性向上につながり、安全面・品質面・業務効率の改善に寄与しました。

また個別のテーマとして、組立現場では「建築機器製品組立の作業性向上」を掲げ、レイアウトを見直し、作業動線縮小・検査時間短縮・段取り短縮の成果が上がりました。製造現場でも、「部品の加工時間短縮」を掲げ、工法見直し・刃物変更を実施し、1工程短縮が可能になりました。



改善前後の組立レイアウト

●生産改善紹介

白河日東工器では、生産合理化を目的に部品洗浄機、NC転造盤、ロータリー式資材収納ラックを導入しました。部品洗浄機は、洗浄工程の最初（予備洗浄）から最後（乾燥）までを一貫で処理可能で、作業時間短縮と品質向上を図ることができました。NC転造盤は、ベテラン社員の技量に頼っていた作業をロボット化・無人運転化し、リードタイム短縮と品

質安定性保持を図りました。ロータリー式資材収納ラックは、主にドアクローザ部品を保管し、収納力UPと誤出庫防止を図りました。

組立現場では、コロナ対策の一環として、作業員間の距離の確保とビニールシートによる間仕切りを実施しました。また、作業員の使いやすさを考慮して組立作業台を改良し、作業性向上を図りました。

工場全体では毎週清掃タイムを確保し、各エリアの美化・改善を図っています。また、生産現場では責任者レベルが2S巡回点検を実施し、衛生面・安全面・作業面に着目した改善活動を実施しています。

NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)

●環境活動紹介

NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) が、取り組んでいる主な活動を紹介します。

- ① 2009年にISO14001を認証取得し、2018年に2015年版に移行しました。
- ② 企業活動における、電気や水などのエネルギーや、ゴミ分別によるリサイクルの状況を毎月管理集計し、改善の余地がないか検討し、省エネ・省資源・5S活動に取り組んでいます。
- ③ 日東工器グリーン調達基準に基づき製品の構成部品全てに対し、環境に悪影響のある化学物質に関して、仕入れ先さまと一緒に管理・低減活動をしています。



NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)

海外環境データ

海外生産グループ会社のCO₂排出量と電力使用量

NKAM (オーストラリア)	CO ₂ 排出量	82t
	電力使用量	131千kWh
NKIT (タイ)	CO ₂ 排出量	1,339t
	電力使用量	2,356千kWh

技術で、人を想う。

約60年間にわたって培ってきた技術力や、高品質への信頼に加えて、今後はより画期的な製品開発やサービスの提案が必要とされています。こうした時代の中で、私たちは「ユーザーの立場に立って考え、行動すること」を今まで以上に大切にしていきます。

日東工器 社会・環境活動関連年表

	活動	区分
1956年	日東工器株式会社設立	—
	省エネルギー・省人化製品（エアマイクロメーター・カブラ）製造開始	環境製品
1958年	省エネルギー・省人化製品（ツール）製造開始	環境製品
1973年	省エネルギー・省人化製品（リニア）製造開始	環境製品
1997年	日東工器株式会社ISO9001認証取得	ISO9001
2000年	省エネルギー・省人化製品（オートヒンジ）製造開始	環境製品
2001年	日東工器グループでISO14001認証取得活動開始	ISO14001
2003年	グリーン調達分科会を設置・活動開始	グリーン調達
	新製品の環境配慮設計（DfE）評価を開始	環境製品
2004年	日東工器株式会社ISO14001認証取得	ISO14001
	グリーン調達ガイドライン0版発行	グリーン調達
	グリーン調達活動開始	グリーン調達
2006年	多摩川河川敷清掃活動開始	社会・環境活動
2007年	営業車ハイブリッド車導入開始	社会・環境活動
2009年	日東工器本社建築新社屋「CASBEE」最高ランク評価相当	社会・環境活動
	環境報告書の発行	環境報告書
2010年	グリーン調達委員会を設置・分科会より活動移行	グリーン調達
	近隣清掃活動開始	社会・環境活動
	主要グループ会社ISO14001認証取得完了	ISO14001
2011年	大田区環境イベント「エコフェスタワンダーランド」参加	社会・環境活動
	山形県「やまがた絆の森プロジェクト」参加（株式会社メドテック）	社会・環境活動
2013年	グリーン調達ガイドラインから基準へ名称変更（7版より）	グリーン調達
	大阪市ごみ減量優良標受贈（西日本支社）	社会・環境活動
2014年	製品含有化学物質管理システム（CMS）を構築	グリーン調達
	塩化メチレン使用中止で全生産拠点有害物質使用の全廃達成	グリーン調達
2015年	大阪府環境局特定建築表彰受賞（西日本支社）	社会・環境活動
2016年	既存製品のDfE評価（評価見直し）開始	環境製品
2017年	大田区廃棄物抑制・リサイクル推進優良事業者表彰受賞	社会・環境活動
	日東工器グループISO9001/14001：2015年版への移行完了	ISO9001/14001
2018年	山形県「みはらしの丘清掃」参加（株式会社メドテック）	社会・環境活動
	大阪市ごみ減量優良建築物標章受贈（西日本支社）	社会・環境活動
2019年	JICA人事行政セミナー 国際研修員受け入れ開始	社会・環境活動
	「大田区高齢者見守り推進事業者」に登録・協力開始	社会・環境活動
2020年	コロナ下において医療用吸引器／マスクを医療機関・自治体へ提供	社会・環境活動
	地元中小企業との特別商談会を実施	社会・環境活動

日東工器株式会社

■ 本社：〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
 ■ TEL：03-3755-1111代
 ■ URL：https://www.nitto-kohki.co.jp/



▲ HPIはこちら



▲ Youtubeでも公開中